令和５年度中堅教諭等資質向上研修（必修1－1）について

教科指導法研修会（中・社会）に関するご連絡

担当：皆川　卓（山梨大学）

　この研修会では、受講者の先生方がこれまで実践した社会科の授業をチェックしながら、現在中学校で求められている授業とはどのような授業をいうのか、またそれを実現し、伝えていくにはどうしたら良いのかを議論し、教科指導に関する能力の向上と波及を目指します。そのため受講される先生方には、以下の課題をご準備の上、実施報告書を作成していただけるよう、よろしくお願いいたします。

【課題】：中学校社会科における「社会的な見方・考え方を働かせる」授業の実践

○２学期に実施予定の単元の中で、中学校社会科の学習指導要領（平成29年度改定要領）で求められている「社会的な見方・考え方を働かせる」授業例を構想し、実践の上、報告をお願いします。

○地理・歴史・公民どの分野でも大丈夫ですが、生徒の既修知識（小学校の学習内容も含む）を活かせるような授業を意識して下さい。

○教材についても、どのようなものを用いても構いません（教科書や資料集はもとより、ICT教材、フィールドワークなど、学校で用いられる一般的な教材全て。独創的な教材も歓迎）。授業で学ばせたい知識とは何かを念頭に置き、「社会的な見方・考え方を働かせる」ことに効果的と考えた教材を用いて下さい。

【実施報告書作成要領】

○A4判の両面印刷で「指導案編」と「実践報告編」を作成して下さい。枚数は任意です。ご報告時間は一人30分を予定しています。

○「指導案編」は一般的な指導案の形式で結構です。

○「実践報告編」の形式も任意ですが、下に作成用例をお示ししておきます。

　教科指導法研修会（中・社会）実践報告　　○○中学校　名前（　　　　　　　　　　）

1. 単元名・対象学年

（例）第５章　日本の近代化と国際社会（ウ）「自由民権運動の高まり」・２年

２．教材名

（例）『中学社会・歴史―未来をひらく』教育出版　○○～△△頁

　　 『最新歴史資料集』明治図書　○○～△△頁

　　　オリジナル教材『藤村紫郎を調べてみよう！』（ワークシート付プリント）

　3.単元目標

　４．単元の評価基準

　５，「社会的な見方・考え方を働かせる」学習について

1. 授業者にとっての「社会的な見方・考え方を働かせる」とは？

(指導要領、これまでの現場での経験、研修などで学んだことから想定できる仮説をお書き下さい)

　　(2)本単元で「社会的な見方・考え方を働かせる」ために工夫したことやアイディアをお書き下さい。

　６．授業の展開（○時間）

　　・時間ごとに、授業の実施過程と生徒の反応、結果をお書き下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間目 | 授業内容 | 児童の主な発言や様子 | 「社会的な見方・考え方を働かせる」活動 |
|  |  |  |  |

　７．実践をおえて－成果と課題

　・授業を振り返って、生徒はどのような新しい知識が得られたでしょうか。

　・工夫した点やアイディアは、何にどの程度活かされたでしょうか。

　・ご自身が考えた「社会的な見方・考え方を働かせる」学習は、どの程度達成されたで

しょうか。

　・この学習を、この先の単元学習にどのように活かせるでしょうか。

　・ここから後輩の先生にアドバイスするとすれば、どのようなことがあるでしょうか。

【当日の予定】

１．日時　2023年12月26日（火）　9：15～12：15（受付　9：00～9：15）

２．受付　山梨大学教育学部　M号館1階　M-12教室

３．研修場所　山梨大学教育学部　LC-11

４．研修内容

（1）受講者による実践報告　お一人30分程度

（2）グループディスカッション→グループでのまとめ・報告　40分

（3）今後の授業づくりに向けて　50分

5．準備

（1）実践報告は4部印刷し，当日先生方への配布をお願い致します。

（2）パソコンを使用する場合にはご自身のものが原則になりますが、接続トラブルに備え、データを入れたUSBもご持参下さい。また実践報告に関し，ワークシート、動画、アンケートなど参考になる資料がありましたら，ぜひご持参ください。

6．ご質問等　研修内容や課題について質問等ございましたら，下記までご連絡ください。

　　　　　山梨大学教育学部　皆川　卓（みながわ　たく）

　　　　　Email：tminagawa@yamanashi.ac.jp